

(参考) OECDラーニング コンパス2030

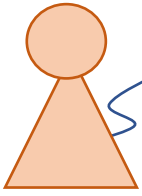
資料 1 - 1

Co-agency(共同エージェンシー)
保護者と、教師と、コミュニティと
生徒同士との双方向的な互恵的な
支え合う関係

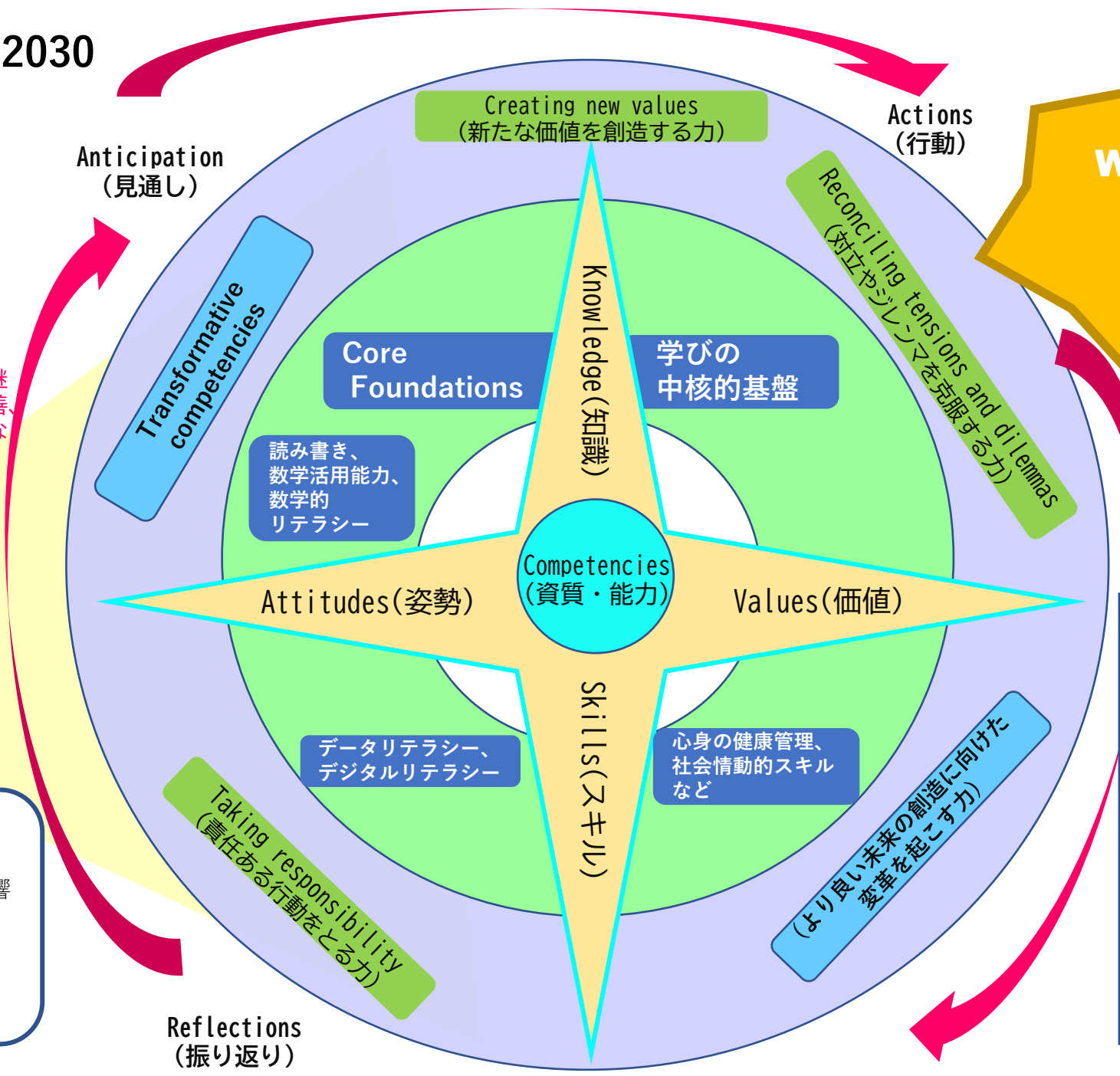


AARサイクル
Anticipation見通し・
Actions行動し
Reflections振り返りの
サイクルは、学習者が継続的に自らの思考を改善
行動するための反復的な
学習プロセス

子どもたち一人一人が
ラーニングコンパスを
手にしている



Student agency(生徒エージェンシー)
[原則・前提]
自分の人生や周りの世界に対してポジティブな影響
を与えうる能力と意志を持っている
↓
変革を起こすために目標を設定し、
振り返りながら責任ある行動を取る能力



学ぶ目的としての
Well-being 2030
「よりよい未来」
個人だけでなく、
社会の、地球全体の
Well-being

「生徒エージェンシー」は、
アイデンティティと
所属感の発達に関連。
エージェンシーを育むとき、
生徒はモチベーション、
希望、自己効力感、成長する
思考態度（能力や知能は
発達可能であるという理解）
を支えとして**ウェル
ビーイング**の方向へ指針を
合わせる。こうして生徒は、
目的意識を持って行動でき、
社会に出ても活躍できるようになる。